

壁美人[®]打ち込み痕が
ほとんどわからない!配線モール
コーナー (白)
取扱説明書※一部の石膏ボードの材質によっては針が
打てない場合があります。

品質表示

- 外形寸法：幅3.1cm×奥行き1.5cm×高さ10.2cm
- 有効寸法：幅2.4cm×奥行き1.1cm
- 主 材：ベース・カバー/ポリプロピレン
フィルム/ポリカーボネイト樹脂
針/ステンレススチール
- 原 産 国：ベース・カバー/フィリピン製
フィルム・針/日本製

(製造・販売元)

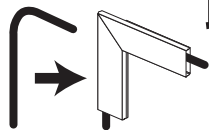
株式会社 若林製作所

新潟県三条市井戸場218-9

お電話 0256-34-6132

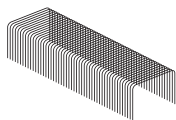
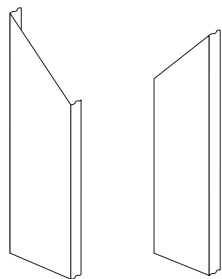
<http://www.kabebijin.jp>

紙 取扱説明書

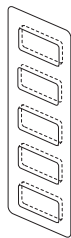


① セット内容

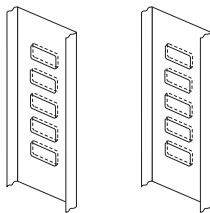
- カバー(コーナー)×2枚
- 専用針×1個(50本)



- フィルム×2枚



- ベース(コーナー)×2枚



- 取扱説明書×1枚



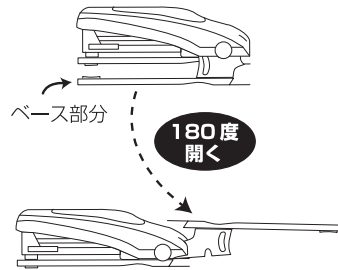
取り付け前の確認

本品は石膏ボード専用商品です。コンクリート壁面に取り付ける事は出来ません。打ち込み可能な壁面であるか、ホッチキスを試し打ちしてご確認ください。(針に白い粉のような物が付着しましたら、石膏ボードです。)

② 取り付けに必要なもの

ベース部分が180度開く
タイプのホッチキス

(推奨ホッチキス：MAX社製 HD-10D)



安全上のご注意

■必ずお守りください。

⚠ 警告

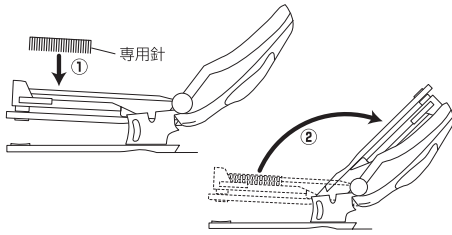
- 衝撃が加わったり、地震が発生した場合は固定したベースがしっかり固定されていることをカバーを外してご確認ください。もし、針が少しでも浮いている場合は、針を抜き取り、再度設置をしてください。

⚠ 注意

- この商品は配線コード専用です。配線コードの収納以外には使用しないでください。
- 振動が生じている場所や、振動が生じる可能性のある場所でのご使用はしないでください。
- 大部分の石膏ボードに固定できますが、一部硬質石膏ボードには固定できない場合があります。
- 打ち込みフィルムは2回まで使用できますが、2回目の打ち込みは前回の打ち込みの穴と重ならないようにしてください。
- 必ず専用針をお使いください。(専用針はステンレス製です。鉄製の針は錆びて壁を汚す原因となります。)
- 専用針は硬くとがっており危険です。お子様の手の届かない場所に保管してください。
- 作業中でも針でケガをしないように充分ご注意ください。
- 必ず専用針を硬くとがっており危険です。お子様の手の届かない場所に保管してください。
- 床上に落下した針などはすぐに処分してください。(踏んでケガをしてしまう恐れがあります。)
- 取扱説明書の使用方法や固定方法以外による事故、破損による損害など、いかなる責任も負いかねます。

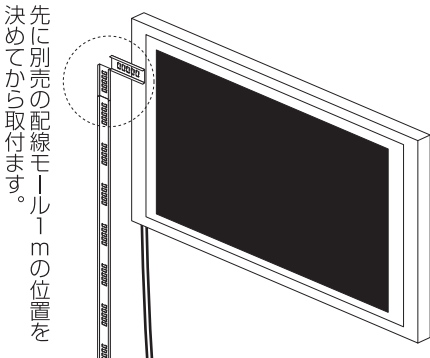
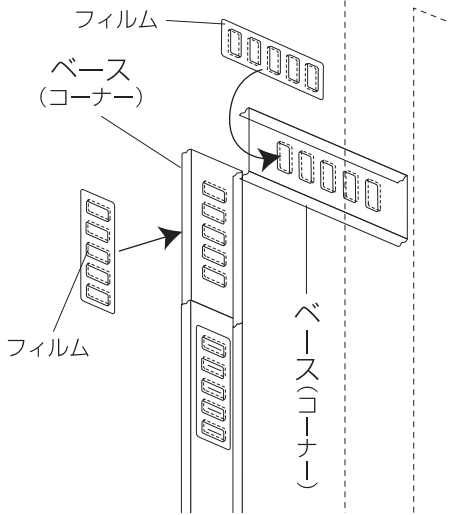
取付方法 ※壁美人配線モール1m(白)とセットでご使用ください。

1 ホッチキスに付属の専用針をセットします。



2 先に別売の配線モール1mの位置を決め取付ます。

配線モールコーナー用ベース取付は、タテの位置から配置して行い、その後、横方向のベースをコーナーがキレイに合うように**3**の手順で行います。

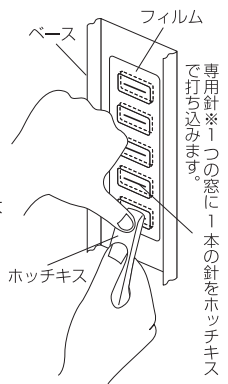


先に別売の配線モール1mの位置を決めてから取付ます。

3 ベースの窓にフィルムを右図のように、はめ込みます。

1でセットしたホッチキスで、少し斜め(約30度の角度)に打ち込んでいきます。

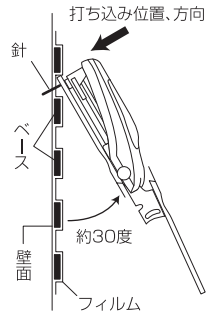
1つの窓に専用針を1本最後までしっかり打ち込み、全ての窓に同様に打ち込んでください。



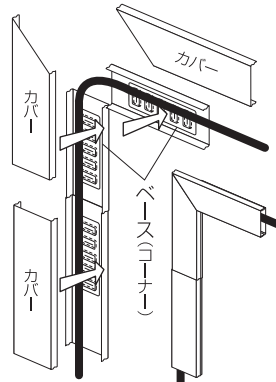
専用針※1つの窓に1本の針をホッチキスで打ち込みます。

※ホッチキスの先端がぶれると、針が曲がります。

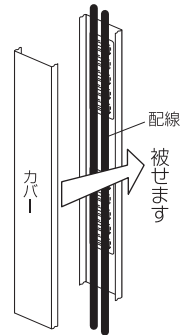
- ホッチキスを図のように壁面に対し少し斜め(約30度の角度)に打ち込んでいきます。
- 上のイラストの様に両手を使って打ち込むと最後までしっかり打ち込むことができます。



4 ベースの取付が完成したら、配線をモール内に入れ、カバーを被せてください。凹凸になっており、ピタッととはまって完成です。



※別売の配線モールも同様にカバーを被せます。



※コードが複数の場合は両面テープ等で押さえてあげると作業がしやすいです。

取りはずし方

- 取付方法に従って取り付けした金具をはずす場合は、ホッチキスの後ろの「針抜き部分」を利用して1本1本抜いてください。

△注意 ※抜いた針でケガをしないよう充分ご注意ください。